



よく使う日本語

何時、何分ですか？【時刻】

何時間、何分間ですか？【時間】

基本的な流れ

指導のポイント

1 ストップウォッチを見ないで、10秒たったと思うところで止める。
(聞く・話す活動)



○10秒という時間の長さの感覚と言葉の意味を理解させるための活動である。何度か行わせてみるのがよい。同じように30秒、1分でも何度か行わせる。

T: 「10秒だと思ったら時計を止めます。」

S: 「止めました。おいしい！12秒でした。」

T: 「1分は何秒ですか？」

S: 「60秒です。」

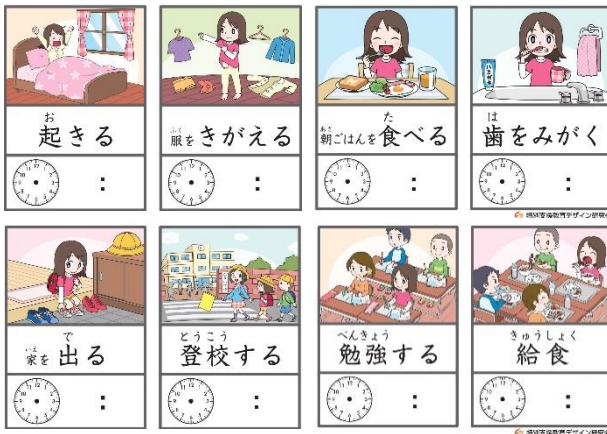
T: 「1分だと思ったら時計を止めます。」

S: 「やった！ぴったり60秒でした。」

T: 「おや、授業が始まってから何分経ちましたか？」

S: 「15分経ちました。」

2 一日の生活の絵カードを順番に並べて、時刻を書く。(読む・書く活動)



○自分の一日の生活の順番に並べてから、その時刻を書く。時刻を意識していなくて分からない場合には、次の課題にしてもよい。学校生活の時刻は分かりやすいので、学校生活の時刻から書き始めてもよい。

T: 「何時何分に起きますか。」

S: 「6時30分です。」

T: 「何時何分に給食を食べますか。」

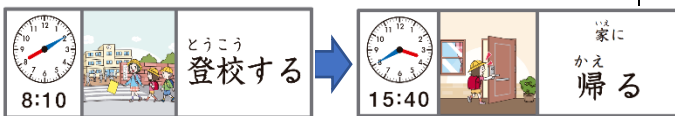
S: 「12時40分です。」



時刻が分からない児童には、算数セットの時計の模型を使って教えましょう。時計の読みは日本人児童でも定着に時間がかかるので、焦らず少しずつできるようになればよいでしょう。

3 絵カードや時計すごろくで、時間についての問題を考える。(聞く・話す活動)

○絵カードを使うか時計すごろくを使うかは実態による。どちらも、時計の模型やデジタル時計が支援になる。



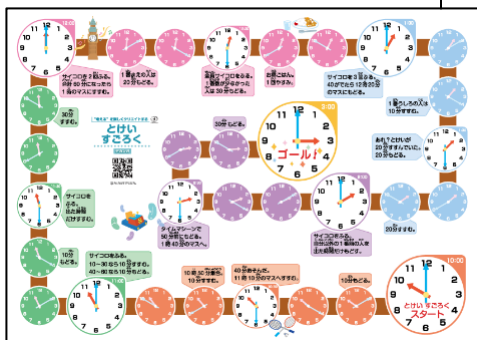
T: 「給食の時間は、何分間ですか？」

S: 「20分間です。」

T: 「学校にいる時間は、何時間何分間ですか？」

S: 「7時間30分間です。」

時計すごろく



※高学年以上は、

・「何分後は？何分前は？何時間何分後は？」など児童の理解度に応じた質問をする。